

医療環境外血圧値測定の意義

齋藤 圭美* 木村 美枝* 田中由紀子*
河邊 博史* 齊藤 郁夫* 永野 志朗*

自分自身の血圧値が高いことを知らされると、その後の外来での血圧測定時に血圧値が高くなることが知られている¹⁾。一方、外来血圧は高いが24時間血圧、または、家庭において測定した血圧値が正常であることを知っている場合、この外来血圧の上昇が抑制されるか否かは知られていない。そこで、今回、学生健康診断において血圧値が高かった学生を対象に、24時間血圧または家庭血圧計による血圧の測定を行い、医療環境外の血圧値を知ることにより再測定時の血圧値が変化するか否かを検討した。

対象と方法

4月の学生健康診断時に測定した血圧値が最大血圧140 mmHg以上、または最小血圧90 mmHg以上の学生43名（男性42名、女性1名、平均年齢20.8歳）を対象とした。

対象者には健康診断後、24時間血圧（日本コーリン ABPM 630 使用）または家庭血圧（オムロン HEM-705 CP 使用）の測定を行い、一部の学生にその結果を知らせた後、外来血圧の再測定を実施した。

結果については、対象者を以下のA,B,C 3群にわけて検討した。

A群…医療環境外の血圧値を知られなかつた者（6名）

B群…医療環境外での血圧値も高値であることを知られた者（12名）

C群…医療環境外での血圧値は正常であることを知られた者（25名）

なお、医療環境外での血圧値の高値は、起床中の血圧値の平均が最大血圧140 mmHgまたは最小血圧90 mmHg以上とした。また、外来血圧の再測定時には、血圧測定に対する心理面への影響に関するアンケートを行い、「安心する、影響なし、気分が重い、悪影響あり、不安になる」の5項目からあてはまるものを選択してもらった。

成績

図1にA,B,C 3群の健康診断時、医療環境外、再測定時の血圧値を示した。4月の学生健康診断時の血圧値には、A,B,C 3群間に最大、最小血圧とも有意差を認めなかった。また、医療環境外における血圧値は各群とも健康診断時の値と比較すると最大、最小血圧とも低値を示していた。さらに、医療環境での再測定時の血圧値は、健康診断時同様、3群間では最大、最小血圧とも有意差を認めなかった。しかし、この10月の再測定時の血圧値と医療環境外で測定した血圧値を比較してみると、すべての群において最大血圧に有意差がみられ、再測定の方が高値で、特にC群においては17.7 mmHgと大きな差がみられた。一方、A,B,C 3群とも再測定時には健康診断での測定値に比べ低下がみられた。各群の差の平均はA群では最大血圧9.8 mmHg、最小血圧3.0 mmHg、B群では最

*慶應義塾大学保健管理センター

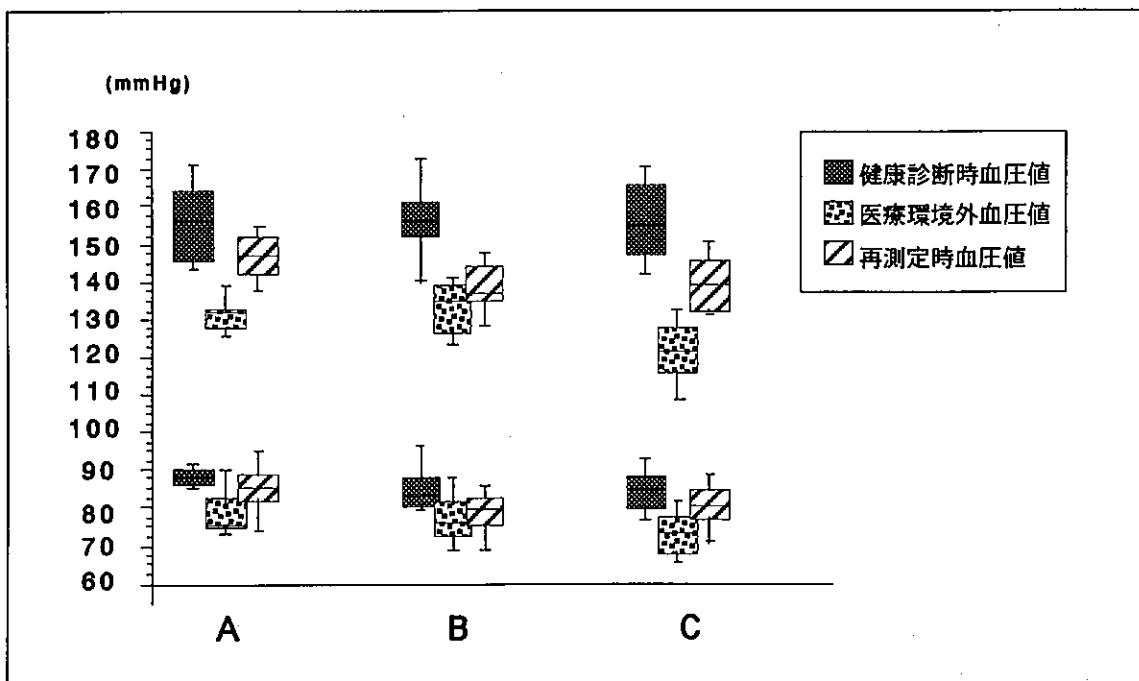


図1

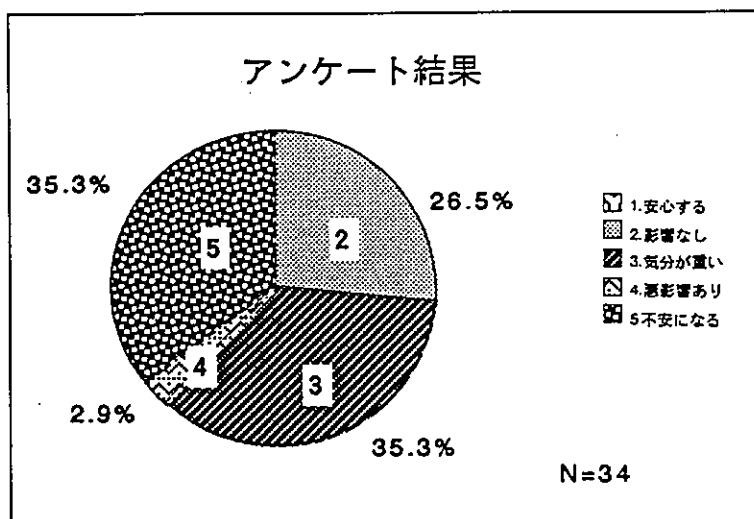


図2

大血圧 18.0 mmHg、最小血圧 7.7 mmHg、C 群では最大血圧 16.1 mmHg、最小血圧 5.7 mmHg の低下がみられ、B 群、C 群での差は有意であった。

また、アンケートの結果では「気分が重い」「不安になる」を選んだ者が多く、医療環境外の血圧値を知らされていても、医療環境での血圧測定に対する心理面への影響はあまり軽減されないことが明らかとなった（図2）。

考 察

医療環境外での血圧値を知らせることで、その後の医療環境における血圧値の低下はみられたが、医療環境における血圧値ほどは低下しないことが示された。

一般に、医療環境外での血圧値は正常であるにも関わらず、医療環境においては血圧値が高くなってしまう白衣現象を呈する高血圧は、白

白衣高血圧と呼ばれている。今回 C 群と定義したグループは、この白衣性高血圧と思われ、今回の結果より、白衣性高血圧は自分が本当に高血圧なのではないか？という気持ちだけでなく、診療所という特殊な環境での測定の影響が、より大きいと考えられた²⁾。

以上より、医療環境外の血圧値を知ることが、その後の外来血圧値に及ぼす影響は少ないとと思われた。

総 括

1. 健康診断時に血圧値が高値であった 43 名の学生において医療環境外での血圧を測定し、一部にその結果を知らせ、外来血圧の再測定と血圧測定に対する心理面への影響に関するアンケートを行った。
2. 医療環境外での血圧値を知らせた者の再測

定時の血圧値は健康診断での測定値に比べ低下し、その差は有意であったが、医療環境外での血圧値を知らせた者と、知らせなかつた者を比較すると有意な差は認められなかつた。

3. アンケートの結果、血圧の測定については「気分が重い」「不安になる」と感じている者が共に 35.3% を占めた。
4. 医療環境外の血圧値を知ることが、その後の外来血圧値に及ぼす影響は少ないとと思われた。

文 献

- 1) Rostrup, M., Kjeldsen, S. E., Eide, I.; K.: Awareness of hypertension increases blood pressure and sympathetic responses to cold pressor test. Am. J. Hypertens., 3: 912-917, 1990
- 2) 河邊博史、他：男子大学生における収縮期・拡張期高血圧と収縮期高血圧の差異について。慶應保健, 10: 21-26, 1991